

土砂災害対応防災訓練
非常事態に備え再確認



▲パトロールの結果により危険箇所を報告する職員

6月5日、桑原地区・桑村小学校体育館で土砂災害対応防災訓練が行われました。

同訓練には桑原区民、県、町職員、田方北消防署員、消防団員など約100人が参加しました。

前夜から雨が降り続き、避難準備情報の発令により、地区内のパトロールや消防団員による避難の呼びかけを実施。その後、避難勧告の発令により桑原区民を広域避難所の桑村小学校体育館に避難誘導、避難者受付や備蓄品の簡易間仕切りなどの確認を行いました。

避難後は、県職員による土砂災害の講習や町職員による熊本地震体験報告などが行われ、非常事態に備える行動などを再確認しました。

今よりも元気な私に!そして笑顔に
「子育てママのミニ講座」

6月9日、かなみ知恵の和館で子育てママのミニ講座「美ママエクササイズ」が行われ、11人の子育て中のお母さんが参加しました。

講師には宮石紘実さんを招き、～夏に向けてデトックス!～をテーマに有酸素運動で笑って汗を流して、体と心のリフレッシュをしました。

参加者からは「汗をかいてとてもスッキリした。気晴らしになった」。などの感想が聞こえました。

子育てママのミニ講座は、体操・音楽・応急手当・交通安全教室などお母さんの知識向上、笑顔で家族とコミュニケーションをとることを目的に月1回程度行っています。



▲有酸素運動を行う宮石さん(写真中央)と参加者

返礼品の充実を図る
ふるさと納税事業者説明会



▲昼と夜の2回に分けて説明会を行いました

6月9日、函南町役場でふるさと納税の返礼品を提供する協力事業者説明会が行われ25の事業者が参加しました。

町では、返礼品の充実を図りふるさと納税寄付額の増加と町内の特産品などによって観光振興や産業振興を目的に実施していきます。

協力事業者と返礼品は、エントリーシートを基に決定します。

協力事業者は随時募集受付を行っていますので、興味のある事業者などは産業振興課(979-8114)へお問い合わせください。

第42回まちづくりセミナー
地域公共交通の現状を把握



▲「地域公共交通」について講演する伊豆原さん

5月31日、第42回まちづくりセミナーが行われ、各区の役員、町地域公共交通会議委員、町議会議員、職員ら約80人が参加しました。

講師には、伊豆原浩二さん(愛知工大客員教授)を招き「日常生活における交通について考えてみよう!」をテーマに講演が行われました。

講演では、バスや鉄道など公共交通の現状に触れ、「地域公共交通の整備は、地元の文化や風土を想定して検討することが大事。行政と交通事業者、住民が一体となって役割を果たすことが重要。」と話しました。

「道の駅」の起工式
伊豆全体の拠点施設へ

6月1日、塚本町内にオープン予定の「道の駅」(仮称)伊豆ゲートウェイ函南の起工式が、建設予定地で行われ、国、県、町の職員、地元、工事関係者など約120人が出席し、工事の安全と完成後の発展を願いました。

PFI(民間の資金活用による公共社会資本の整備など)方式での道の駅整備は県内初で、施設は木造一部2階建て約13,280㎡で、隣接地に整備予定の「川の駅」と道の駅を結ぶ展望歩道橋の工事を6月中に、道の駅本体の建設を8月から開始予定です。(オープンは平成29年の5月上旬予定)



▲工事の安全と完成後の発展を願いました

7か国14人が視察
知恵の和館で母と子と触れあう



▲自己紹介をされ手を振る視察団

6月2日、日本の母子保健を学ぶために来日した公益財団法人ジョイセフの視察団14人がかなみ知恵の和館を訪れました。

訪れたのはアフガニスタンやガーナ、ケニアなどの7か国の医師や保健師、行政関係者などで、知恵の和館の施設の概要や、絵本の読み聞かせ、手遊びなどの事業の説明を受け、母と子の交流イベントと一緒に参加して親睦を深めました。

フィリピンから参加した医師のマリー・ジョセフィン・ピンキハン・ドゥラワンさんは、「子どもの成長に不可欠な施設・事業がそろっている。大変素晴らしい。」と感想を話してくれました。